

プラズマ・核融合学会誌

第84巻第4号

2008年4月

小 特 集	プラズマと電磁波の相互作用の新規応用 —空間的・時間的デザインが拓く新機能—	
	1. はじめに	北條仁士, 酒井 道 179
	2. 伝搬電磁波に対するプラズマの空間不連続効果の実験的検証 —空間周期構造がもたらす機能性—	酒井 道, 橘 邦英 182
	3. マイクロ波プラズマ生成における凹凸界面の効果	菅井秀郎, GANACHEV Ivan P. 187
	4. マルチ低インダクタンス内部アンテナを用いた次世代メートル級 大面積プロセスに向けたプラズマ生成制御技術	節原裕一 193
	5. プラズマの空間的周期構造の生成とレーザー光制御への応用	近藤公伯, 兒玉了祐 199
	6. プラズマの時間的不連続性を利用した電磁波制御: DARC	東口武史, 湯上 登 204
	7. プラズマの時間的不連続性を利用した電磁波制御 —航跡場からのテラヘルツ波生成—	湯上 登 209
	8. おわりに	北條仁士, 酒井 道 213
講 座	オープンソースソフトウェアを使った実践データ解析	
	5. 地球流体科学における Ruby の利用	堀之内 武 217
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		228
インフォメーション		229
	幅広いアプローチ活動だより(7)	
	JT-60 共同研究優秀賞について	
	【人事公募】	
Plasma & Fusion Calendar		231
本 会 記 事		232
	第7回核融合エネルギー連合講演会プログラム/学会賞候補者の募集	

表紙の絵

ヘリウムガスを動作ガスとして、マイクロ波で生成された大気圧放電プラズマ・ジェットの様子の静止画。(a)安定な紡錘型放電、(b)ノズル周縁部に足を置く湾曲型放電。初期ガス供給率によって両放電構造のどちらかが分岐的に現れる。(Shuichi TAKAMURA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.3, 012 (2008). <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方に】本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です)権利委託先: 学術著作権協会 Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。
また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC) (222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA Tel 1-978-750-8400; Fax 1-978-646-8600)